

集落の力を結集して地域農業を守ろう

組織名 西目堤係環境保全会

位置： 下関市豊浦町 対象面積： 32ha

◆ 地域の現状等

当地域では、県営圃場整備が完了し効率的な農業を営むことが出来る耕作条件が整備された。ところが、これに反し農業者の高齢化、後継者の不足で農業をやめる農家が出ている。そこで、西目堤に係る水利関係者と関係自治会が一体となり地域の環境保全に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

農業者は耕作及び関連施設、自治会は集落内の環境保持、土地改良区からは地域内施設の保全管理の指導等を受けるなど、それぞれが連携し西目堤係水系の環境保全活動を実施している。

◆ 効果

用排水路はもとより自治会内道路の草刈り等おもに農業者が実施していたが、この活動を開始してからは自治会が参加し、農家、非農家の役割分担された地域の環境保全意識が高揚しつつある。農業者においては、現状の農業に不安を抱き農地の集積や将来への方向性の検討等について聞かれるようになってきている。

◆ 将来の展望

集落内の人口は減少し高齢化がすすみ、地域の活動は次第に低下している。この地域の効率的な経営の出来る農業の方法として、担い手への農地の集積、営農組織化、更には法人化まで模索した活動へ展開し、集落一体となって農業と地域の環境保全を保持出来る地域づくりを推進したい。



『自分達のことは・自分達の手で』未来を拓こう！

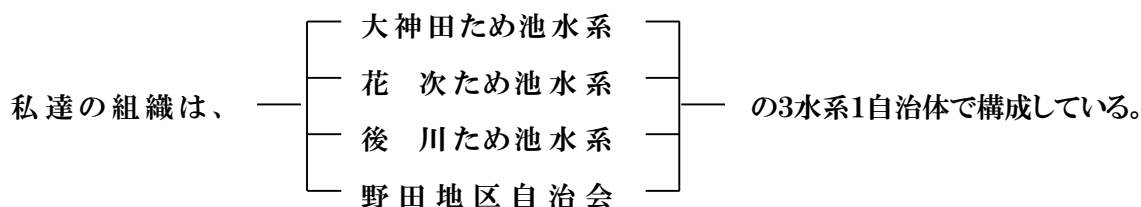
きたなかむたのだちくのうすいかんきょうほぜんくみあい
組織名 北中無田・野田地区農水環境保全組合

位置： 下関市豊浦吉永 対象面積： 20.3ha

◆ 地域の現状等

当地区は、山口県の最西端に位置し、山陰道191号線沿いに響灘を眼下に、名勝地、西長門ブルーラインを北上途上にある吉永地区に在し、風光明媚な田園地帯で吉永川、無田川の支流域で、豊かな水の恵みを受け、又一方では農業後継者の減少、急速な高齢化等、将来の不安を抱えながら、農業生産活動を実施しています。

◆ 活動内容等



活動は、「協定に位置つけた」活動を基本に、当初(平成19年度)より組織役員による『点検活動』及び『機能診断』等、実態調査を行うなかで、各水系の設備の維持管理は、各水系耕作者単位で、必要最小限度実施されておりますが、農業後継者の減少、及び高齢化に伴い、作業負荷率の高い箇所等、放置されているのが現状で特に「排水路」及び「ため池取水口」の堆積土等により、その機能が失われていた。又、資金運用については、実態を鑑み向こう5年間の資金運用内規(案)を作成し「支援交付金総額」の約30%を不具合設備等に充実する旨、総会承認を得て機能回復を計ってきた。以下、主な活動を紹介します。

◆ 活動内容と効果の把握

1、平成19年度 『開水路(排水路)堆積土』の除去作業(後川水系)

(効果) = ①農用地の機能が回復した。

(排水が悪く、湿田状態であった)



2、平成20年度 『ため池取水口堆積土』の除去作業(花次水系)

(効果) = ①貯水機能が向上し、干ばつに対応できるようになった。



3、平成21年度 『農道の整備』作業(花次水系)

(効果) = ①農作業用の諸機械の運転事故がなくなった。



4、平成22年度 『開水路への障害立木伐採』処理作業(後川水系)

(効果) = ①水路への落葉・枯枝による通水障害がなくなった。

②水路保全の向上につながった。



5、平成19年度～平成23年度

『開水路の川藻』の除去作業(花次水系)

(効果) = 通水障害の解消を図ることが出来た。

(豪雨事の二次災害等)



6、平成19年度～平成23年度 『景観形成・生活環境保全』作業

(野田地区自治会)

(効果) = ①良好な人間関係を図る事が出来た。

②潤いある生活環境を作ることができた。



7、平成23年度『開水路への障害立木伐採』処理作業予定(大神田水系)

(計画予定)



◆ 将来の展望

農地・水等の生産資源及び豊かで潤いある、農村環境の継承にむけて今後も「自分のことは、自分達の手で」をモットーに「農地・水」向上活動は農業者が主体となり、「農村環境」向上活動は自治会が主体となり、活動を展開していく中で、後継者の育成を図り、又一方では急速な高齢化が予想されるため、更なる合意形成を行いながらの連帯感の強化をはかり、『農業をしたくなる』北中無田へ、『住んで良かった』といえる、野田地区へ鋭意取り組んでいきます。

集落の農地は共同活動で守ろう

組織名 いちのせかんきょうほぜんたい
一ノ瀬環境保全隊

位置： 山口県下関市豊浦町 対象面積： 15.25ha

◆ 地域の現状等

当地区も高齢化が一段と進み深刻な課題となっています。
平成19年度よりこの対策に取組み、有効利用し農家非農家を含め地区住民全員で地区の保全に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

大羽山ため池と、一ノ瀬川水系の管理。農地については、一ノ瀬生産組合が主体で管理しているが、自治体、婦人部等と連携して、農村環境向上活動を実施している。

◆ 効果

最初は役員にも不安があったが、共同活動を重ねるごとに、環境美化、農地を守ると意識が高まってきたのではないかとと思われる。

◆ 将来の展望

今後も、この対策を継続する事に依り、地区住民一同が更なる環境保全の向上、景観づくりに努めることとされます。

岡井手、小路の水と景色を皆んなで守ろう

組織名 岡井手・小路環境保全会

位置： 下関市豊浦町 黒井 対象面積： 32.5ha

◆ 地域の現状等

当地域は、県営圃場整備事業が完了後、溜池で水を確保し、公共の川を水路として利用している異なった3地域が、保全会を組織し、活動を進めております。この地域は、ほとんどが兼業農家と小規模の専業農家であります。したがって、当初は高齢化、過疎化を心配する事もなく4年が経過しました。しかし、最近になって、少し深刻になってまいりました。しかし地域全体としては、農業数は少ないですが、各自治会全体としては、まとまりも良く、農村環境向上活動には協力的な地域であります。

◆ 活動内容等

地域全体では、3つの地域がそれぞれの溜池を所有し、きれいな水を確保するため、溜池と水路管理を実施しています。又それぞれの関係自治会、関連小学校に農村地域の環境美化を守るため、小学校にホタル飼育クラブを設置し、年間を通して飼育活動を推進しています。夏には地域全体でホタル祭りを開催し楽しんでいきます。又、地域内には昔から彼岸花の自生地でありましたが、圃場整備工事で消滅寸前でありました。それを守るため、地域全域に、小、中学生の協力を得て植付、育成、管理を続け、毎年9月下旬には、彼岸花鑑賞ウォークを開催し、地域全体で楽しんでいきます。又、きれいな水の確保について、毎年6月に地元土地改良区指導のもと、小学生5、6年生の児童に対し、水の大切さと、農村環境保護の学習会を開催しています。

◆ 効果

最初は、関係農家のみでの利害関係で「役員(関係者)のみが苦勞するのでは」と思っていたのですが、今では関係地域だけでなく、小中学校区や関係自治会の方々、地域全体が感心と興味を持って見守っています。この対策も5年目となし、関係農家の方々も、今年度以降どの様に対応し、きれいな水と農村環境を守って行けば良いのか、真剣に考える時期が来たのではないかと思います。

◆ 将来の展望

この活動も今年度が最終年度となりますが、これから先65才以上の割合が5%程度は増加すると見込まれ、10年後には担い手の減少も想定されます。しかし、ほとんどが、兼業農家のため、現行農家50%は水質、水系及び用水路施設の管理から、強い絆で結ばれており、活動人員は、ほぼ維持されると見込まれ、耕作放棄農地は無いと思われる。なお、一層の推進を図るため、下記事項等についての話し合い活動が必要と思う。

1. 大型専業農家とのかかわり
2. 大型機械の共同利用
3. 裏作営農の促進
4. 役員との交替と役割分担
5. 関係農地地主の管理負担(協力)



連帯感を強化して！

組織名 黒井第三換地農地保全会

位置： 下関市豊浦町 対象面積： 21ha

◆ 地域の目指すべき方向

当地域では、県営圃場整備が完了し約 10 年の歳月が経過しているため農道や水路等の施設の老朽化が見受けられるようになってきている。施設の維持管理活動は、ため池の水系ごとに関係農業者が中心に自治会の協力を得ながら実施している。また、自治会では環境美化活動を実施しており、現状では農業者と自治会により農村環境の保全活動が行われている。

今後は、農業従事者の高齢化や集落の過疎化が予想され、農村環境の保全が危惧されている。これから、農村環境を保全していくためには、地域全体のさらなる連帯感の強化が必要であり、これらを解決するためにも地域での合意形成を行い、農業者をはじめ様々な主体の参加を図り、地域づくりや環境保全活動に取り組む必要があると考える。



湯玉地域農地等環境保全会

組織名 ゆたまちいきのうちとうかんきょうほぜんかい
湯玉地域農地等環境保全会

位置： 下関市豊浦町宇賀湯玉 対象面積： 16.6ha

◆ 地域の現状等

当該地区は、平成6年度に団体圃場整備事業を完了した小集落です。日本海響灘の海岸と国道191号に面した地域ですが、従来より中山間地域に指定されて、直接支払い制度の協定を締結しており農地の耕作条件は、決して恵まれているとはいえません環境にあります。集落は87世帯の内21世帯が農業者でその殆どが兼業農家で、高齢化と共に後継者不足は深刻な課題となっています。このため、平成19年度より本制度を有効に利用して、非農業者を含めた地域の環境保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

営農組合及び農事組合が連携して二カ所の溜池と川嶋川及び犬鳴川水系の水路と農地、農道を主体的に管理しているが、自治会、老人クラブ、やる気クラブの非農業者団体も地域の環境美化を守るために活動に参加して、農村環境向上活動を定期的に行っています。

◆ 効果

過去4年間、自治会、老人クラブ、やる気クラブ、こども会、婦人会も参加して共に環境保全、美化活動に積極的に取り組んで住民の生活環境に対する意識の向上が見られ、合併浄化槽の設置が増え家庭排水の浄化、ゴミや空き缶のポイ捨て、粗大ゴミの廃棄が無くなる等取り組みの効果が得られています。

◆ 将来の展望

農業者の高齢化とともに就農者の減少が予想され、農地、水の環境保全は、非農業者の参加が益々必要となる時に、こども会、婦人会の2団体は、こどもの減少、婦人会員高齢化により22年度で解散したのが残念である。今後も環境保全の一環として、菜の花やコスモスによる景観づくりを継続し、地域住民みんなが楽しみながら意識の高揚を図って活動したいと思っています。



「助け合いの心で郷土の農地を守ろう」

かみたまみどりほぜんたい

組織名 神玉みどり保全隊

位置： 下関市豊北町 神玉・神田地区 対象面積： 48ha

◆ 地域の現状

当地区は、平成12年～15年に国営ほ場整備事業を完了し、将来、水田農業の効率化を図ろうとした。しかしながら地区の農業者は、高齢化および兼業化が進み、ほ場整備田の一部が虫喰い状態に荒廃しかねないことが予想された。さらに、自治会内においては、農家割合も減少し、農地・水を中心とした環境保全が懸念されるようになった。そこで、平成19年度より始まった本事業に取り組み、郷土の農地・水を守ろうと頑張っている。

◆ 活動内容等

農地・水路・農道及び溜め池の維持管理は各農業者及び共同作業によって実施されることは当然であるが、前記ほ場整備事業の設計特徴は環境保全を配慮した設計にある。この内容は、用水路・排水路の区別化、大きい土手におけるセンチビードグラスの植栽、紫陽花や彼岸花の植え付け、代掻き水の河川流失防止及び、水生昆虫の生息増加(生物多様性)等がある。

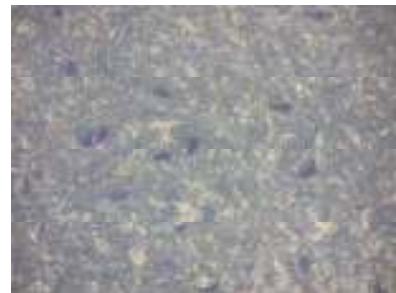
これらを区域住民に啓蒙することによって、農家及び非農家を含め、環境にやさしい用水を確保することができると考えている。このことは、近年、矢玉川のホタルの発生量の増加の一因となっていると思われる。一方、海水浴場及び土井ヶ浜遺跡に近い転作田にはコスモスを作付けしている。これらは、農業生産の観点のみならず非農家及び都市生活者との交流にも役立っていると自負している。



◆ 効果

本隊は活動単位が二つの旧村にあること、また、それらが散在しているので、まとめが困難かと思われたが各役員の目的意識と活動内容が同様であることから活動単位の役員間の情報交換及び協力はかなり良かったと思われる。

このことは本事業に非参加の集落にも良い影響を与えることと思われる。また、都市生活者が多く立ち寄る施設の近くに景観作物を植栽すること、「矢玉川」のホタル名勝地の復活は農業者のみではなく地域全体で環境を守っていこうとする意識の高揚につながるものであろう。一方農業用水は量と質が課題である。質の良い農業用水は、作物生産の面からだけでなく、食の安全・安心にも貢献できることを混在社会に啓蒙する必要がある。



◆ 将来への展望

スローガンにも掲げたとおり、「助け合いで郷土の農地を守ろう」ということは、各活動単位の自治会内において、高齢化や独居老人の増加する現状の農村社会を維持する最善の方策だと考えている。



共に助け合い、励まし合う環境保全

組織名 つしまかんきょうほぜんたい
角島環境保全隊

位置：下関市豊北町大字角島 対象面積：14.79ha

◆ 地域の現状等

当地区は下関市の西北端で離島のため、圃場整備がされてなくて狭隘で段々の田で畦畔と法面が広く、加え雨水に頼る田が多く、また老齡化の進行で危機的状況を、平成19年度よりこの対策を有効に活用し共同化で地域の保全に取り組みました。

◆ 活動内容

離島で川がなく湧水系に係る営農者を集団化し、それぞれが連携して農地・水・向上活動を実施しています。また自治会(非農家)や女性部が地域の環境・美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

本対策事業の趣旨を周知徹底するための説明会を実施した結果、地域全体で地域の環境を守る意識が高まり、景観形成のための花木の植栽、農道の点検や清掃活動を定期的に実施する事が定着し、導入効果がありました。

◆ 将来の展望

今後、老齡化が進展する中でこの事業に取り組むには、更に集団組織を再編し、将来が展望できる組織化を図る必要があります。

地域住民の環境保全活動は定着して居り、これからも継続していきます。



守ろう故郷 つなげよう未来へ！

組織名 クリーンカントリー阿川

位置: 下関市豊北町大字阿川 対象面積: 66.1 ha

◆ 地域の現状等

当組織は、四つの下部組織から成り、ほ場整備事業は完了しているもののいずれも中山間地区であり経営規模の小さな兼業農家主体で高齢化、過疎化が進み後継者問題も大きな課題だと考えています。

平成 19 年度よりこの対策を活用し、農家だけでなく非農家をも取り込み地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

四つの組織がそれぞれの組織内でため池・農地を主体に保全管理し、水路や農道の管理は自治会を取込んで、またゴミ・空き缶拾いは、行政と連携し環境美化に努めている。さらに一部組織では、休耕田にコスモス等を植えて景観形成の向上を図っています。



◆ 効果

- ・草刈りで場所によっては年間 1 回だったのが 2 回または 3 回できるようになった。
 - ・濁水管理に対する認識が増し濁水量を抑えることができた。
 - ・ゴミ拾い等全員で取り組むようになり環境美化に役立っている。
 - ・コスモス等花が咲くと地域が明るく感じられるようになった。
 - ・この取り組みのおかげで人員の確保が容易になり作業効率が向上した。
- 以上のように環境や水の大切さに対する関心が高まり会員の意識が向上した。

◆ 将来の展望

5 年先、10 年先の展望は、決して明るいとは言えないが今後もこの取り組みを継続していただくことにより農地・水・環境を守り、住民が共に明るく安全で安心して住めるよう協力し取り組んでいきたいと思ひます。

地域環境の美化に向けて！

組織名 あわのちく まるかい
栗野地区を守る会

位置： 下関市豊北町 対象面積： 45ha

◆ 地域の現状等

地域の中央部を栗野川が北流し、油谷湾に注いでいる。河口の浦自治会に人口の半分が集まり、残り9つの自治会が栗野川流域に点在している。

国営圃場整備事業により、整備されてはきたが、高齢化、過疎化が進み、地域の環境保全が問題とされてきた。栗野川の治水、利水、環境保全を地域全体で考えようとの思いが根本にありこの事業に取り組んだ。10自治会、老人クラブ、PTA、栗野川共生会が参加。



◆ 活動内容等

10自治体の農家・非農家が主体となり基礎部分に取り組み、場所によっては、老人クラブ、PTA、栗野川共生会も含めた共同作業を行っている。また、誘導部分についても、老人クラブ、PTA、栗野川共生会が地域の環境美化に取り組んでいる。

◆ 効果

農地を中心とした環境保全に非農家の関心がいくようになった。

栗野川への関心が森林から農地、海へとつながり、地域全体で環境を守っていかうとの思いとなった。

◆ 将来の展望

10自治会のうち半数がいわゆる限界集落(小規模、高齢化集落)であるので、地域の暮らしそのものに不安を感じている高齢者も多い。

その中でこの事業を契機とし、集落を越えて地域全体で安全、安心な地域づくりができれば良いと思う。

「笑顔で」新たな発展への基盤づくり

組織名 たきべほぜんたい
滝部保全隊

位置： 下関市豊北町 対象面積： 田 64.5ha 畑 18.7ha

◆ 地域の現状等

滝部保全隊は、3つの自治会「中原・向坊・境下」で構成し、いずれも圃場整備を完了しています。しかしながら高齢化が進み後継者、担い手不足から農地を守る意気込みも薄れつつあり、深刻な課題をかかえております。そこで現在この対策を活用し「助け合いの心」「共同の輪」を広げ農家、非農家が一致団結し、3自治体が連携をとりながら保全活動に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

まず、各自治会の特徴、弱点を活かした取り組みから手をつけ、井堰の改修、かわになの生態系の保護、圃場の徐礫、有機物(堆肥)投入、環境美化(景観作物)に「全員参加」をテーマに又地域外から小学生の田植え体験学習等の交流活動を取り入れ活動を実施しています。



◆ 効果

最初は、農地・水・環境保全活動と言っても「ピーン」ときませんでした。が、平常の活動を通して「共同・環境面」から一人でも多くの参加を呼び掛け「活動の輪」を広げてゆき、今では源氏ホテルが乱舞すると同時に高齢者から子供まで参加するようになり、「地域のまとまり」も強くなったのではないかと自治会間の連携も身近に感じ、地域ぐるみの自然資源保全や環境に配慮した営農に理解が深まった気がしています。



◆ 将来の展望

この対策を有効活用していくことにより、さらなる自治会間の親交を深め、「共同の心で明日を拓く」に磨きをかけ、又高齢者の障害事故防止活動、住みよい村づくり活動を推進することにより、笑顔で支え合う集落をめざして行きたい。

地域ぐるみで守る農村環境

組織名 たすきみ どりほぜんかい
田耕水土里保全会

位置： 下関市豊北町 対象面積： 261ha

◆ 地域の現状等

当地区は、市北部の内陸に位置し、粟野川流域の農用地の殆どは圃場整備が施工されている。

しかし、急速にすすむ高齢化、過疎化で地域の将来が不安となる中、平成19年度より本対策に取り組み、農業者約220名と10自治会の構成で地域の環境保全に努めている。

◆ 活動内容等

広域(大字)の組織で、班(集落)ごとの施設の点検、診断、計画を基に全体計画を策定し、その実践に努めている。

農用地の管理は、農業法人(1)、特定農業団体(2)そして地域の担い手が主体であり、また、自治会や学校と連携し農村環境の向上活動に取り組んでいる。

なお、野猪等の被害が深刻でその対策に重点的に取り組んでおり各班が連携しながら施設管理等の徹底を図っている。



◆ 効果

これまで農業者の季節的な共同作業はあったが、本対策の導入によって、非農業者を加えた共同作業の実施で、自分たちが郷の環境を守ろうとする意識が高まり参加意欲が上がってきたのではないかと思う。

また、このようなことが弱まりつつある集落機能の回復につながるものと期待される。

◆ 将来の展望

農業就業者等の減少、高齢化は避けられず、本対策の更なる展開を望むものであり、集落間の連携を一層強めながら活動を補完、調整する方策が必要となるであろう。

また、営農の組織づくりをすすめ、環境にやさしい農業生産活動をすすめたい。

希望輝く明るい地域を次世代へ

はぎがたいかんきょうほぜんかい
組織名 萩ヶ台環境保全会

位置: 下関市菊川町 対象面積: 24.6ha

○ 地域の現状

当地区は昭和 56 年に菊川地区内で初めて圃場整備が完了した地域ですが年数と共に施設も老朽化が進み、また農業者の高齢化も進み農地の耕作放棄田も出始めているのが現状です。平成 20 年度よりこの対策を有効に利用して地域の農家、非農家が一体となり地域の保全に取り組んでいます。

○ 活動内容

地域の農家、非農家が連携をとり農地、水路の保全管理を行いました、地域の環境美化対策として農道沿いに水仙の球根を植え環境向上活動を実施しています。



○ 効果

当初、組織設立時には活動面、人間的に不安等ありましたが地域の協力を得ることにより歌野川利水における水路については水漏れ等も少なくなり利水の末端まで十分な配水が出来るようになりました。農道も整地作業を行い道路のおうとつも無くなり車の通行もしやすくなりました。環境面においては毎年、道路沿いに水仙の球根を植えたことにより地域はもとより通りがかりの方からも「きれいな水仙が今年も咲きましたね」と喜ばれています。また、ごみ(特に空き缶類)が以前より少なくなりました。

この取り組みにおいて地域の方々が一緒に取り組むことにより今まで以上に地域の連帯感が得られるようになりました。

○ 展望

この取り組みを始めて地域住民の活動に対する関心が深まってきていますが将来的には世代を超え取組むことによりこの活動がさらに発展するものと確信をしています。特に地域環境面においては今後、色々な景観作物を地域全体に植えることで更なる連帯感が深まると共にこの農村地域が今以上に明るく楽しい環境になればと思います。

皆で考えよう！安全で潤いのある集落環境づくり

組織名 りゅうおうちいきしげんほぞんかい
竜王地域資源保存会

位置： 下関市菊川竜王 対象面積： 21.8ha

◆ 地域の現状等

当地区は、平成10年度に県営圃場整備事業が完了し主には水稲単作経営を行っている小さな集落です。現在では高齢化が進み65歳以上の農業者は50%程度です。しかし、10年後には殆どが65歳以上となり、このままでは益々厳しい集落営農が考えられます。そこで、平成20年度よりこの対策を有効に活用して農家、非農家との連携を取りながら農地・水・環境保全管理に取り組んでおります。

◆ 活動内容等

地域内の農地は主に太郎丸水系と河原田水系、矢萩水系の3つの水系と一部の出水で一帯の農作物が守られています。この為、それぞれの管理組合が連携して農地・水向上活動を行って農地の維持管理を行っております。具体的には用排水路の溝浚えやティフブレアの植栽、通水口の礫、砂の除去、出水を利用する生物、植物の安全性を確認する為の水質調査等を実施しております。また、農村環境向上活動を行って自治会、老人会の協力による農道沿いの景観形成(コスモス・菜の花ロードづくり)や年1回の地域交流会による伝統継承等を実施しております。



◆ 効果

小集落で異業種も多いせいかわ昔からまとまりのある地域であり、集落環境づくりについても「何とかして地域を良くしなければ」と言う意識は高い様です。この為、今回の取り組みについては農業者、自治会、婦人会、老人会の皆が積極的に参加、協力して頂き日頃の活動を通じて農地、施設の維持、管理の大切さや自主的な施設の保全管理の実施等、豊閑広域農道(清末～竜王間)が出来てからは今回の事業と並行して更に集落環境づくりへの関心は高まったと思います。

◆ 将来の展望

この対策を契機に今後も活動を定期的実施すると共に豊閑広域農道沿いの景観形成(菜の花・レンゲ・コスモス)の継続や営農組織との連携強化による農地の維持管理を図る等、竜王地域の住民が安全で楽しく潤いのある環境づくりを目指し今後も活動を実施して参りたいと思います。

『水・土・里ネット』で里山を守ろう！

なかしもちくかんきょうほぜんかい

組織名 中下地区環境保全会

位置：下関市豊浦町川棚 対象面積：25.58ha

◆ 地域の現状

当地区は、平成11年12月に県営ほ場整備事業を完了した地域です。当地区の耕作農地は川と山に挟まれた農地で地区の農業者は4戸ですが、平成20年度よりこの対策に参加し、川を渡り又、山を越えて農作業に来ていた農家26戸、合計30戸の農耕者に地域の非農家の方々と連携し、地域の農地・里山を未来へつなげようと取り組んでいます。

◆ 活動内容

当地区は、農業者30戸、非農業者70人にて、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。又、自治会、真和会(高齢者クラブ)、たんぽぽ会(女性部)、PTAが地域の環境・美化・里山を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

当地区にも、高齢化が進み田圃の所有者は福祉施設に入居して、田圃は「かや・いぐさ・セイタカアワダチソウ」が茂り、田圃法面は「竹・笹・雑木」が茂り、田圃にも竹が侵入し雑種地同然の耕作放棄地(3.8反)が有り如何にして昔の田圃へ再生出来るか思案していましたが、本対策にて、自治会や真和会、たんぽぽ会、子ども会・PTAなど多数の方々が、2年費やして昔の田圃へと再生し、3年目にしてコスモスの花を満開に咲かせる事ができ、近隣の住民及び隣接の高齢者介護施設入居者の皆様に、この対策に大変感謝しています。

(中央ブルーの屋根が介護施設)



◆ 将来の展望

今後、この対策を豊かな自然環境を有する地域でゆとりある生活を過ごせる環境整備を推進するとともに、高齢化の進行に併せて兼業化や混住化が進行し、耕作放棄地の発生や土地改良施設の粗放化、農村活力の低下など農村を取り巻く環境は年々厳しさを増しているため、地域住民が一体となって、農耕地を守り、子どもから高齢者に至る地域住民が快適で豊かに暮らせる環境保全に取り組んでいきます。



地域の輪で農地を守る

組織名 とうほうかんきょうほぜんかい
東法環境保全会

位置： 下関市豊北町 対象面積： 7.9ha

◆ 地域の現状等

当地区は小規模農家が集まった地域で、各戸所有する耕作田は少なく各地に点在しており、これまで多大な労力が要求されていた。さらに、高齢化が進み放置田が見受けられるようになった。そこで、この地域だけは田を残そうと国営農地再編整備事業で平成15年度にほ場整備した地域です。これまで夏場は水不足に悩んでいたが、水路・道路・ため池と整備したことにより、管理しやすくなりました。さらに環境を良くしようと他地区より1年遅れでこの対策に取り組み、耕作していない所有者を含め、地域全体で環境保全に努めています。

◆ 活動内容等

春の田植え前と秋の稲刈り前の年2回集団作業を実施し、用配水路や道路の管理をすることで施設を最善の状態に保つ。また、地域全体で荒廃地を作らない環境を作り出し農地を守っていく。



◆ 効果

通常は耕作者が各自の耕作地及び周辺の草刈等を行う程度であったが、小作に出している所有者も集団作業に参加してもらっている。自分の所有する耕作田を耕作放棄地にしたくないとの思いと作業に参加すれば賃金が支給されるメリットがあり、地域一帯となって農地を守り、環境を守る意識が向上した。

◆ 将来の展望

現状では、ほ場整備が完了して10年未満であり、水路等の施設は整備済みであるが、これから数年が経過してくるとともに必然的に補修が必要になってくる。本対策の取り組みを有効活用し今後も定期的な見回りや早目の補修で施設の長寿命化につなげる。また、環境保全に努めることで、食の安心・安全にもつなげていく。

環境保全型農業を目指し、この農地を守る！



こくえいのうちかいはつかんきょうほぜんかい
組織名 国営農地開発環境保全会

位置：下関市豊北町 対象面積：180ha

◆地域の現状等

当地区では、昭和53年着工、平成5年に完了した国営豊北開拓建設事業で新たにできた32団地314haの農地に49戸の参加農家が梨・酪農・肉用牛・野菜・花卉等大規模な畑作農業を行っています。その内、30戸の農家が平成20年度より農地・水・環境保全向上対策事業に取り組み、平成21年度よりは17戸の農家がエコファーマーを取得、営農活動支援事業にも取り組みをはじめました。

◆活動内容等

完成して20年以上を経過し、老朽化が激しい水路、農道等の点検、整備に力を注ぎ、営農活動支援事業では「堆肥の正しい理解と上手な利用方法」と題し、講師を招いて研修を実施、土壌検査、堆肥センターの視察等を通じ、環境保全型農業への関心を深める活動を行っている。

◆効果

日々の営農に追われ、営農に支障が生じた時点にしか目を向けなかった農用地・パイプライン・農道の機能診断を実行することにより、初期補修、適正な管理を実施することができるようになった。また、環境美化へも興味を持ち、団地全体で清掃、花木の植樹等、共同作業の中で地域との連携も増し、厳しい農業情勢の中で心 and む時も持てた様である。

◆将来の展望

今後求められる環境保全型農業を軸とした安心・安全な農産物の生産を目指し、この広大な農地をしっかりと次世代へ引き継ぐべき、環境保全にも力を入れ、地域住民の方々と共に豊北地区の農業を守っていききたい。

「共同活動による」地域の連帯！

組織名 むろつかんきょうほぜんかい
室津環境保全会

位置： 下関市豊浦町 対象面積： 41ha

◆ 地域の現状

当地区は、平成13年度に県営ほ場整備事業を完了した地域です。しかしながら、現在、高齢化・過疎化が進み、地域の深刻な課題であると考えています。そこで、平成21年度よりこの対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域の環境保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

当地区の4水利組合が5つのため池と沖田川及び市川水系の農地・農業用施設を主体に管理するなど、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。また、地域の環境・美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

最初は、「役員を含め少人数の参加になるのでは？」と懸念していましたが、非農家に加え、花の愛好者など多数の方々が参加しています。地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと考えています。この対策も3年目となり、地域住民の環境に対する意識はかなり向上しており、効果が得られています。



◆ 将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開していくことにより、「多様な構成員同士が、これからの農村や食の安心・安全について語りあうことができればいいな」と考えています。また、本対策を有効活用して開水路の泥上げや農道の維持補修を定期的にも実施するとともに、地域の環境保全の一環としてカンナやコスモスによる景観づくりを継続して、地域住民とも楽しみながら活動をしたいと考えています。

絆を大切に

組織名 みちいちかんきょうほぜんかい
道市環境保全会

位置： 下関市菊川町 対象面積： 15 ha

◆ 地域の現状等

道市地区は平成15年度に県営圃場整備事業を完成した地域です。当時は、地区全体が高齢化、過疎化が進み、圃場整備には、色々ありましたが全員で地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

営農組合がリーダーシップを取り、組織を大切に、長年続く様活動を実施しています。



◆ 効果

地域全体での活動や、絆をもって活動することがすぐに取り入れられるようになった様子が分かります。



◆ 将来の展望

ここ3年でしたが、これまで以上に地域での活動に力を入れ、全員で環境保全を頑張りたいと思います。



みんなですらう「生活環境保全活動」飛翔会

組織名 ひしようかい
飛翔会

位置: 下関市吉母

対象面積: 39ha

◆ 地域の現状等

年齢構成、高齢化が一層進んで、60～80才構成10%。

集落平均年齢74才65才以上構成86%。

圃場整備部完了面積は、未整備面積と半々の地域。

地区内の農業者は利用権設定の借り手希望が少なく、今後遊休農地の増加が進む。



◆ 活動内容等

農業者が中心となって、遊休農地の保全をしている。

役員会が中心となり、水路関係の保全を補っています。

溜池組合が中心となり、溜池堤体、水路の保全をしています。

◆ 効果

遊休農地の荒廃がなくなった。春には、菜の花が楽しめる。

自治体、農業者との連携作業で和が保たれています。

◆ 将来の展望

各世帯の後継者は地域外で生活をしているが、盆暮等の帰省があり、地域環境の保全を見ている。

定年後の地域活動に期待している。

「集落の輪」を未来へつなげよう!

組織名 さと み たい
郷 美 隊

位置: 下関市大字永田郷 対象面積: 49ha

◆ 地域の現状等

当地区は、昭和 52 年に永田地区の大半の農地の圃場整備事業を完了し、永田営農組合を設立しました。その後、平成19年度よりこの対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

永田水利組合が 3 つのため池、上水利組合が 1 つのため池、妙寺水利組合が 2 つのため池と永田川水系を主体に管理、永田営農組合が農地を主体に管理するなど、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。また農業者、自治会が一体となって地域の環境・美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

最初は、「役員のみ参加になるのでは?」と懸念していましたが、今では、農業者や自治会など多数の方々が参加しています。地域全体で、農地、環境を守っていかこうとする意識や農村環境への関心がたかまってきたのではないかと思います。この対策も 5 年目となり、地域の農地、環境が良くなっています。



◆ 将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開していくことにより、「世代を超えた多様な構成員同士が、これからの農村や食の安心・安全について語り合うことができればいいな」と考えています。また、本対策を有効活用して開水路の泥上げを定期的実施するとともに、地域の環境保全の一環としてコスモスと菜の花による景観づくりを継続して、地域住民も楽しみながら活動をしたいと思っています。

農村資源を次世代に引き継ごう！

組織名 さとよしみ
みどりの郷吉見

位置:下関市大字吉見上 大字吉見下 対象面積: 73 ha

◆ 地域の現状等

日本列島の最南端に山陽本線、山陰本線の起点下関駅があります。その下関駅から日本海側を山陰本線が走り、萩、松江、鳥取とのびています。山陰本線を下関駅から 14.5km のところに吉見駅があります。その駅裏、一帯の農地が「みどりの郷吉見」の共同活動、向上活動の農地です。「みどりの郷吉見」は、平成19年度に完了した圃場整備田と隣接の一部未整備田を合わせた約 73ha の農地を約 200 名の農業者と、非農家、自治会、土地改良区が加わり、農地・水・環境保全向上活動をしています。



◆ 活動内容等

諸活動は「みどりの郷吉見」を中心にして、施設別、又は集落別に9つの班を作り活動しています。それこそずっと大昔の徳川幕府の封建社会の時代から、春が来ると溜池毎に、又は、井堰ごとに、水利関係者が集い、いでせき、溝さらえという共同作業を、先祖から現在へと受けついできました。幕府の大事な行事の一つであり、農村の一つの風景でもありました。私達の祖先は、農業を守るため、農村環境を守るため、営々この共同活動を自主的に続けてきました。平成19年、農地・水・環境保全向上活動が始まり、今迄の自主活動では手の届かなかったところや、非農家の人も加わった活動へと大きく前進してきました。「農地・水・環境保全向上活動」農村の環境保全、そして更なる向上のために、本当に良い制度だと思います。

農水省も政府も今、東日本復興の予算作りや原発問題でたいへんですが、日本全体の農業を守り向上させるため、この「農地・水・環境向上活動」は、これからもずっと続けて頂きたいと願っています。

美しい景観・住みよい里づくりをめざして

組織名 みさかすいけいほぜんかい
深坂水系保全会

位置： 下関市安岡

対象面積： 71ha

◆ 地域の現状等

当地域は、深坂ため池を水源とし、東幹線、西幹線、中幹線の合計約 9,500mにより、244ha の水田に配水されているが、水利施設の老朽化と、農業従事者の高齢化により、施設の維持、管理が大変困難な状況になっている。

◆ 活動内容等

1.水源地及び水路、農道等、維持、管理活動

2.景観形成、生活環境保全活動

(山口国体「花いっぱい運動」へ取組む等)

◆ 効果

深坂ため池が、農林水産省の「ため池百選」に選ばれた。(平成22年6月)

◆ 将来の展望

農業者以外の地域住民も含めた共同活動として発展、定着させていきたい。



(集落の力)を未来へつなげよう

組織名 うついのうちかんきょうほぜんかい
内日農地環境保全会

位置： 下関市大字内日集落

対象面積： 291.4ha

◆ 地域の現状等

内日地区は、平成8年度に県営圃場整備事業を完了した地域です。しかしながら、現在少子化、高齢化、過疎化が進み、地域の深刻な課題であると考えています。そこで、平成19年度より、幸いにこの対策を有効に利用して、農家、非農家を含め連携をとりながら、地域環境保全に熱心に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

内日用水調整委員会は、内日ダムを主体に管理、また農地を主体に管理するなど、それぞれ連携して、農地・水・向上活動を実施しています。

また、内日各地区自治会、内日老人クラブ、内日地区子供会が、地域の環境美化を守るため農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

内日地区では、最初は「地域の有志、役員に参加になるのでは？」と懸念していましたが、内日小中学校の児童、生徒達に加え、各地区の自治体や内日老人クラブなど、多数の方々が参加しています。地域全体で、環境を守ることの意識や農村環境への関心が高まっています。さらに、農地・水の大切さを関係者から学ぶなど効果があがっています。

◆ 将来の展望

内日地区では、この対策を更に発展的に展開していくことにより、「世代を超えた多様な構成員同士が、これからの農村や食の安全、安心について語りあうことができればいいな」と考えています。本対策を有効に活用して、用水路の整備を定期的実施し、地域の環境保全の一環として、菜の花やコスモスなどによる景観づくりを継続して、地域住民も楽しみながら活動したいと思います

構成員一丸となって！

組織名 内日3町の環境を守る会

位置： 下関市大字内日上

対象面積： 35ha

◆ 地域の現状等

当地区は全体の面積約1/2以上が中山間直接支払いの対象になる条件の厳しい地域ですが、「内日3町生産組合」を設立して25年目になります。現在の組合数、36名です。この農地・水・環境保全向上対策に取り組み、生産組合の運営に大変役立っています。

◆ 活動内容等

3つの集落で成り立っていますが、各集落とも、遊休農地をなくするよう共同活動で、農道・水路・ため池等の維持管理を重点に置いています。



◆ 効果

定期的な管理で、農道・水路・ため池が整備されています。又、組合員同士話し合う機会も多くなり、意識の統一もはかられているようです。



◆ 将来の展望

この対策を持続することが、3町生産組合の維持又発展にもなると思います。しかし、高齢化、後継者不足が心配です。

明るく美しい井田をつくりましょう

組織名 い だ かんきょう まもるかい
井田の環境を守る会

位置： 下関市井田町 対象面積： 38ha

◆ 地域の現状等

当地区は圃場整備を早く完了した地区です。現在は農業も高齢化が進み共同作業にもなかなか大変な状況でしたが、平成19年よりこの対策を活用して、農家、自治会が連携し地域保全に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

上井田地区、下井田地区で、農業者が河川、水路、溜池の管理を。又、上井田自治会、下井田自治会が会員による農道の草刈、コスモス等の栽培をし、地域の環境美化を守るため、環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

上井田、下井田の両地区で、お互い交流もよく、又、事業も積極的に進められています。又、年間、一度は両地区共同の農道の草刈りも盛り上がっています。

◆ 将来の展望

共同活動を更に進めて、環境の保全に取り組みたいと思います。

「郷土を守る力」を未来へつなごう

組織名 王司の環境を守る会

位置： 下関市王司(河内町・中村町・下組町・山田町・神田町)

対象面積： 101ha

◆ 地域の現状等

当地域は、平成12年度に県営圃場整備事業を完了した地域です。しかしながら、現在、高齢化、過疎化が進み、地域の深刻な課題であると考えています。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に利用して、農家、非農家を含め連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

自治会が5つある地区で一つの組織を作っています。ため池と川水系を主体に管理。農地は、各農家が管理しますが遊休農地が発生しないよう声をかけています。自治会、子供が参加するクリーン作戦、自治会による農道草刈り等、農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

最初は、溝さらえ草刈り、クリーン作戦が主な作業でした。水路の管理、ため池管理は、この制度が無い時は損傷があってもあきらめていました。水路の管理、ため池管理をきちっとすることにより水路陥没処理、ため池損傷処理を通して地域で力を合わせれば出来る事を実感できました。これらのことにより地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきました。この対策も5年目となり、地域住民の環境に対する意識はかなり向上しました。



◆ 将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開することにより、「世代を超えた多様な構成員同士と自治会員がこれからの農村問題や食の安全について語り合うことが出来ればいいな」と考えています。また、本対策を有効活用して開水路の泥上げを定期的の実施すると共に、地域の環境保全の一環としてれんげとなたね、桜の花等による景観づくりを継続して、地域住民も楽しみながら今後とも活動を続けていきたいと思っています。

みんなで農地・水・環境を守ろう
みんなで緑と古里を守ろう
みんなで活力と健康を守ろう

組織名 ぎよすえかんきょうほぜんかい
清末環境保全会

位置： 下関市清末 対象面積： 205ha

◆ 地域の現状等

当地区は、平成10年度に県営圃場整備事業を完了した地域 141ha と、未整備地域 64ha の地域です。水源は、溜池 7ヶ所、神田川水系で用水確保し、海岸線に大型排水ポンプ 2ヶ所あり、農業用水、生活排水等を海に排水。しかしながら高齢化が進み、これら農用地、施設の保全は今後の課題と考える。平成19年度より、この対策を有効に利用して、農家、非農家を含めて地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

従来からの水系に水利組合を中心に10班の組織を作り、地域に適合した保全管理を実施しています。土地改良区、農事組合と自治会と保全会の連携により農地・水・施設・環境美化を守る活動をしています。

◆ 効果

用水路、排水路に家庭排水の流れ込み、ゴミのポイ捨て等が多かったが、本事業取り組み後、成果が見られるようになった。環境保全の意識の関心の高まりと思う。

◆ 将来の展望

- ・農業者の減少する今後、地域住民総出で農地と環境保全、美化に活動したい。
- ・コスモス、菜の花ロードを作り景観美化づくりをしたい。
- ・圃場整備未地域の用排水路、農道(土、砂等)の整備、農地の排水等計画的に施工したい。



進もう みんなで！！

おづき かんきょう ほぜんかい

組織名 小月環境保全会

位置： 下関市小月町

対象面積： 36ha

* 地域の現状等

私たちの集団は、圃場整備の完了した集落、市街地に極めて近く 耕地はどちらかといえば中山間地に近い集落、海岸近くに広大な耕地を有し 大きな溜池を水源とし 新幹線 高速道 JR在来線 国道2号線が横断し 2km余の水路を管理している集落。

以上のような異なる条件の3集落が、平成19年より向上対策に参加し、それぞれの違いを乗り越えてまとめ、自治会 長寿会の協力を得て 全体の活動を進めている。

* 活動内容等

それぞれ、条件の異なる集落が共同して、農地・水・向上対策の活動を展開してきた。近年、都市化と高齢化が、ご多分にもれず私たちの集団でも進行している。

これまで共同でできなかった草刈、農道の補修、水路の補修・掃除、景観作物の栽培など、比較的取り組み易く、まとめ易い作業の活動を進め、現在に至っている。



* 効果

発足当時は、手探り状態で活動していたが、県協議会・農協の援助と指導もあって、逐次活動が定着し、条件の異なる3集落が一つにまとめ、加えて、自治会が、発足当時から構成員として、参加されていることが、大きく活動の支えとなっている。

* 将来の展望

この対策を、地域の活動体として、展開するについて、集落内世話役の積極性を引き出し、強い絆でまとまるよう図る。そして世代を超えた多様な構成員が、次の時代を見極め、英知を出しあい語りあい、地域の発展に貢献できるよう助けあい、そして楽しみあって活動を進めたいと思う。

会の設立から現在まで、県協議会の適切な指導と、農協の援助は、活動を進めるため今後も大きく役立つことと思う。

緑の風 潮の香 心休まる王喜

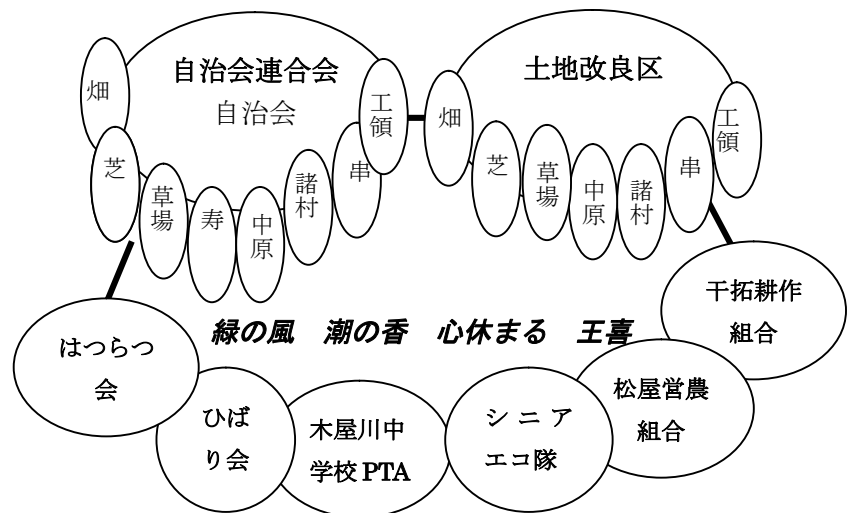


おうきのうちかんきょうほぜんかい
組織名 王喜農地環境保全会

位置:下関市王喜一円及び山陽小野田市埴生 対象面積: 179.3ha

◆ 地域の現状等

従来、各地区自治会、土地改良区が担当区域の環境保全、農業施設管理を行って来たが、必ずしも連携した活動がなされず、活動の行き届かない点があった。「農地・水・環境保全向上活動」の推進を通じて、相互に連携協力して活動する意識が醸成され、王喜地区全体で明確な成果を実感できるようになった。



◆ 活動内容等

8地区自治会と諸団体を中心に、地域の河川、道路の環境整備を徹底して、地域全体の生活環境改善を図る。7地区土地改良区と干拓耕作組合を中心に、施設(農道、水路、堤、パイプライン)維持管理、補修等を充実する。自治会有志グループで農道、市道の景観美化を推進。新設シニアエコ隊を中心に、3地区で集中的に景観美化を推進。(海峡ウォーク対応、農地の害虫発生予防など。)

◆ 効果

- ① 耕作放棄地約 2.8ha を復帰させ、現在飯米 0.89ha 飼料稲 0.60ha 作付けしており、地域全体で自己保全管理が徹底されるようになった。
- ② 大型排水路の泥上げが地域全体でほぼ完了し、今後の維持管理が容易になった。水路法面の草刈りを定期的に行ったので毎年の草刈り労力が軽減され、防草シート貼付けを進めた地区では草刈り費用が格段に減った。
- ③ 老朽化による水路崩壊の対策、壁面倒壊防止対策、水路目地詰めなどに効果をあげた。
- ④ 砂利投入による農道補修、道路の平準化、路肩の補強などが進み、車両の乗り入れが容易になった。
- ⑤ 景観美化として草花やコスモス植栽、桜並木の育成、農道沿いの竹の伐採など、多くの共同作業が実施できた。
- ⑥ 新しい住民、非農家の共同作業にお互いに違和感を覚えなくなった。特に景観美化、環境整備の活動に協力的な非農家住民が増え、地域住民の交流に大きく寄与した。

◆ 将来の展望

参加協力者のさらなる増加を推進して、より多くのボランティアグループの自主性活動に定着させたい。特に、婦人会、子供会、趣味グループに活動を任せるように、また営農を側面から支援する活動に発展させたい。水路、農道、堤、パイプラインなど重要農業施設の維持管理、長寿命化の活動を通じて、技術ノウハウ伝承、相互協力の意識高揚を図り、地域農業の継続的繁栄に貢献したい。

集落の力、未来へつなげよう

組織名 よしだちくかんきょうほぜんかい
吉田地区環境保全会

位置： 下関市吉田町 対象面積： 83ha

◆ 地域の現状等

現在高齢化が進み、地域の深刻な課題である。
農家、非農家を含め連携をとりながら地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

各集落の川、水系を主体に管理、営農組合が農地を主体に管理するなど、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。

◆ 効果

地域住民の環境に対する意識は、かなり向上しております。

◆ 将来の展望

地域住民も楽しみながら活動をしたいと思っています。



みんなで守ろう！生活環境保全活動

組織名 船場資源保全会

位置:下関市菊川

◆ 地域の現状

菊川町は、別名「小日本」という名で知っておられる方もあるとおもいます。

当船場資源保全会は、菊川町のほぼ中央に位置しています。

当会は、平成19年度より農家・非農家・子供会・消防団等との連携をはかり、地域の保全活動に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

2つの水利組合と保全会が主体となり、農地・水向上対策を実施しています。

また、自治会・子供会等が地域の環境美化行い、農村環境向上活動を展開しています。

◆ 効果

会を発足した当初、「これは農家のこと」と活動に参加しないだろうと思われた非農家の方々が、多数参加されています。

活動を通して、地域の環境を守っていこうという意識の高揚があったものと思っています。活動も5年目をとなり「地域の環境は地域で守る」という意識の変化が伺えるようになりました。



◆ 将来の展望

今後、組織を発展させるために構成員・自治会が一体となり農村環境の向上に向け、定期的な活動を展開して行きたいと思っております。

恵まれた環境を将来につなぐとともに、 地域のつながりを求めて

こいでちいきかんきょうほぜんだんたい
組織名 小出地域環境保全団体

位置： 山口県下関市菊川町上岡枝 対象面積： 28.96 ha

◆ 地域の現状等

本地域は、農家と非農家が混住しており、従来から個々の農家により草刈りや農地や水路の生産基盤の基礎的な保全活動を実施していたが、現在は共同作業を実施することにより、地域の環境保全対策を実践している。

◆ 活動内容等

農業者、自治体が一体となって、農道、水路、法面の管理、草刈、空き缶拾いなど施設保全管理や生活環境保全活動を実施している。



◆ 効果

小出地域環境保全団体を設立したことにより、以前は小出自治会や小出地区営農生産組合などが個別に活動していた草刈り、空き缶拾いなどの環境衛生活動を、地域内の共同作業として計画的に効率よく活動することが可能となった。



◆ 将来の展望

今後も、基礎的な部分である、きめ細かい草刈や、農道、水路、法面の管理、遊休農地発生防止のための保全管理も然ることながら、特色ある農村環境の向上のための景観整備に取り組みたい。

“農地・水・環境の良好な保全をたもち資源を守る地域のまとまりをめざして”

組織名 ちゃやがわちいきしげんほぞんかい
茶屋川地域資源保存会

位置： 下関市菊川町下岡枝 対象面積： 15.83ha

◆ 地域の現状

茶屋川地域に於いては、近い将来、農地・水・自然環境の適切な保全管理が少子高齢化の進む中で困難になると考えられます。農地・水・環境の良好な保全と質的な向上を図る管理を通じて地域ぐるみでの効果の高い共同活動と農業者ぐるみでの先進的な営農活動を総合的に支援する「農地・水・環境の保全向上対策」が平成19年より実施されるのを活用して、農業者・非農業者が連携して地域資源保存に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

農業者・自治会構成員が連携し歌野川水系の農用地・開水路・農道の施設の保存管理を図ると共に遊休地への菜の花・ひまわり等の植栽の景観づくりを実施しています。又、いきいきサロンと連携し環境向上活動での公会堂の花壇づくりを行なっています。

◆ 効果

当初はこの活動は農家のみものと言う印象がありましたが、地域構成員の共同活動を進めて行くことで、地域の絆が徐々に深まりができてきました。

この活動を継続することにより、地域資源は地域で守る必要性が浸透してきたと思います。



(構成員)



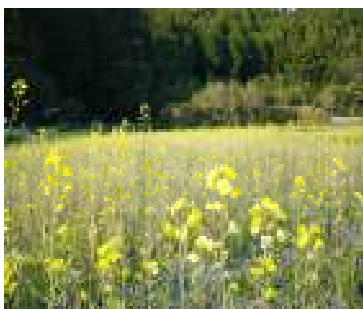
(排水路の石拾い)



(農道のバラス敷き)



(柵の目地詰め)



(遊休地の菜の花植栽)



(花壇の整備)

◆ 将来の展望

今後も地域資源保存会活動を育みながら、地域の連携や日常生活の助け合いを維持発展させて行きたい。現状の年齢構成から見ますと70歳以上が50%と高齢化の中で、地域を支える人材の確保して行くかが課題ですが、各構成員が連携して地域の知恵や技術の継承して活動を推進して行きたいと思えます。

世代を超えた意見交換が確立！

組織名 上の諏訪隊
位置:下関市菊川町

対象面積:26ha

◆地域の現状

当地区は菊川町の北東部に位置し歌野川ダム豊富な水の恩恵を受け、おいしいお米の産地として町内でも有名です。
又、圃場整備事業は町内最初に取り組み完了した地域ですが、これの維持管理が高齢化・後継者問題を含め地域の深刻な課題である。平成19年度より、この対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域保全にとりくんでいます。

◆活動内容

歌野川水利組合の歌野川水系とため池を主体に管理運営を実施。会員35名 農業者(18名)・非農業者(17名)の全員参加を原則として農地・水向上活動を実施しています。

◆効果

当初は、非農家の参加を懸念していましたが、自治会あがりの取り組みと位置づけし、地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと考えています。

◆将来への展望

後継者問題をどう解決し、現状の対象面積をどう維持するか大きな課題が残っていますがこの対策を更に発展的に展開していくことにより「世代を超えた多様な構成員同志でこれからの農村について語り合える環境作り」が出来ればよいと考えています。
又、本対策を有効活用して水路の総点検を本格的に実施してみたい。



人・水・大地は地域の資源

組織名	あろうだちいきしげんほぜんかい 荒小田地域資源保全会
位置	下関市菊川町下岡枝 (自治会名:荒小田南・荒小田北)
対象面積	24 ha



地域の現状

当地区は菊川町の中央にあり、国道沿いの商店街と住宅地域を挟んだ形で農地が広がっている混住地域です。

農家数は地区の全世帯の一割程度で、それも高齢化などにより減少しつつありますが、農家・非農家全世帯が協力して環境整備作業を行うなど地区内の各組織の連携は円滑です。

19年度からこの対策事業を有効に活用して水路補修や農道補修などを行い、環境の保全に取り組んでいます。

活動内容等

荒小田井瀬水利組合が、井堰から揚水する数本の幹線水路を管理していますが、防火用水を兼ねた水路の清掃は、地区の全世帯が参加して行っています。

農家が主体の活動は、草刈・土手焼き・排水路の泥揚げ・水路や農道の補修などを行っています。

また、保全会の呼びかけで播種した菜の花は、春には一面の黄色いじゅうたんとなって多くの人に喜ばれました。

効果

従来は、補修や改善の為の作業は限られた範囲で個々の農家で対応していたところですが、この対策に取り組んでからは活動の発起母体と資金が出来たために、各種の呼びかけが可能になり、共同での対応が円滑に実施出来るようになりました。

また、とかく薄れがちであった農家間の連帯感がよみがえった感じがします。

将来の展望

今後は、この活動が地域に浸透するように PR に努めるとともに、地区内に住んでいる人たちそれぞれが持っている技術と資機材を活用して、より効果的な共同活動の展開ができればと考えています。

また、住んでいる人たちが楽しめる地域の景観づくりの活動も目指しています。

未来へ羽ばたく豊かな農業

組織名 植松農地水環境保全取組隊

位置： 下関市菊川町 対象面積： 50ha

◆ 地域の現状等

植松自治会は、菊川町のほぼ中心に位置しており、米、麦、大豆を主要作物として生産活動を行っており、平成19年度よりこの対策を有効活用して、農家、非農家を含め連携を取りながら環境保全活動に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

当地域は3つのため池と田部川水系からなっており、平成元年に設立した植松営農組合が主体となつてため池、用排水路、農地を保全管理するとともに農地、水向上活動を行っており、平成8年に植栽しました「つつじロード(農道法面500m)」の農村環境美化向上活動を行っております。また、岡枝小学校5年生の児童と地域の農業者との交流を深め農業を理解することを目的として定規を使った田植え、秋には稲刈り、餅つき体験など農業体験活動を毎年実施しております。



◆ 効果

自治会、営農組合、子ども会等が一体となって地域全体の農村環境を守って行こうとする意識の向上が図られました。また、岡枝小学校5年生の児童にとって水の中の生き物の生息状況の把握や水の大切さを学ぶ効果が顕著に現れています。



◆ 将来の展望

植松地区も例外に無く高齢化が進んでおり、この対策を更に発展的に展開していくことにより後継者の育成に努め、農村地域の環境保全、景観形成づくりを継続しつつ農家、非農家の連携を深めていきたいと思ひます。



保全は人の歩み寄り！

さか うえしげんほぜんかい

組織名 坂の上資源保全会

位置： 下関市菊川町

対象面積： 31.5ha

◆ 地域の現状

当地区は昭和 62 年度に県営圃場整備事業が終了しています。しかしながら、用排水路・農道の劣化が進んでいます。平成 19 年度よりこの対策を利用し、農家・非農家を問わず保全に努めています。

◆ 活動内容

農地は営農組合、農道・用排水路は自治会が中心となり農家・自治会員の共同作業とし、老人クラブは年間、通学路の花壇の整備をしています。



◆ 効果

地域で環境を守るには人の歩み寄りが何より大事です。用水路の水漏れ対策の目地詰め作業が共同作業の中核をなし、年々参加者が増え農家と非農家の交流が生まれてきています。



◆ 将来の展望

130戸の世帯に農家20戸の構成の集落が、この対策をさらに発展させるためには世代を超えた多様な構成員同士の交流が必要です。共同作業の充実を図り、参加者トークの場を作ればいいと考えています。

協同の力でクリーンな地域へ！

組織名 大野地域資源保全会

位置： 下関市菊川町 対象面積： 100ha

◆ 地域の現状等

大野地区は、木屋川水系を中心に開けた平祖地の土地利用型農業地域(上大野・下大野地区 農家戸数 60 戸、100ha)である。圃場整備の取り組みを契機に既存の上大野・下大野各営農組合や多くの認定農家が中心となり地域農業を守るため、保全活動に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

大野井堰水利組合と大野堤利水組合が主体となり、農地・水利を管理し、併せて、自治会、子供会が伴に地域の環境美化を守るため、地域を縦横に通る県道、市道、河川法面を含めて環境向上活動を実施している。



◆ 効果

従来も各団体各々での環境美化活動は行われていたが、この事業で地域が一元となり取り組む事で、農村環境全体や住民各々の意識向上への関心が高まってきた。事業実施後、3ヶ所の地域進入路から望む景観は壮観であり、圧巻である。

◆ 将来の展望

今後は事業の対象地域をさらに広げ、活動内容も拡充できるよう発展的に展開していき、今以上に地域住民一人一人の環境保全に対する意識を高めていきたいと考えています。



ここは かんぼき 上保木 じゃけ～

かみほきちくしげんほぜんかい
上保木地区資源保全会

位置;下関市菊川町 対象面積 62ha

1 地域の現状

当地区は菊川町の北東部に位置し農家が90%を占める純農村で、昭和60年にほ場整備を完了している。世帯主の高齢化が48%と高い状況であるが将来を見据えた営農組織等の担い手整備は未確立である。近い将来にも不安を感じつつ平成19年から本事業に取り組み、平成21年から営農活動支援事業も併せて実施している。



2 活動内容等

自治会内の既存水利組合、2カ所のため池管理組合及び自治会で
する14名の役員会で、事前の点検に基づいた水路、ため池、農地・農道・
環境保全等の年間整備計画と各々の予算枠を設定しこの範囲内で活動を行っている。
必要な場合は役員会を開いて事業内容の再検討や予算枠の拡大を審議する。これら
インフラ整備を最重点として先行実施した後交付金の範囲内で畦畔等の草刈り労賃を
支払うこととしている。

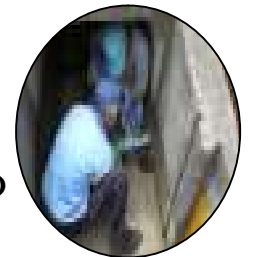


3 効果



ほ場整備後25年を経過し、用排水路の水漏れや畦畔の
浸食、農道の傷み等が課題となっている時期に本対策と
出会い“渡りに船”と名乗りを上げた。

この4年間、幹線用水路の樋門を板の差込式からステンレス製 巻
き上げ式に改善する等、老朽化した用排水施設・ため池等の改修
環境保全に係る意識の醸成。最大は活動を通じて地域を見通す共通認識、絆を深め
る場として役立っている。



4 将来の展望

本活動を契機として、今後新たな荒廃地を出さないための農作業の受委託を調整す
る組織の立ち上げ等ささやかながら地域の担い手となり得る仕組み作りに繋げていき
たいと構成員は思っている。

集落機能の強化のために!!

しもほきちくかんきょうほぜんかい

組織名 下保木地区環境保全会

位置:下関市菊川町

対象面積:46.8ha

□ 地域の現状

当地域は、菊川町の南部に位置し、2級河川木屋川に沿って東西に広がる田園地帯で、近年は地域の高齢化が進み、「地域の田畑は地域で守る」を合言葉に集落営農を中心に水稲・小麦が栽培されている。

地域の高齢化や混住化が進行し農地や農業用水などの資源を守る地域の機能が弱まっている中で、集落の機能を守っていくため、平成19年から地域一体となって環境保全に取り組んでいます。

□ 活動内容等

下保木水利組合が4ヶ所(7つ)のため池と下保木川水系を主体に管理、営農組合が農地を主体に管理するなど、各団体が連携して各活動を実施している。また、自治会、婦人会、子供会とも協力し地域の環境改善や美化のための活動も実施しています。

特色のある活動としては、ため池の底に溜まった泥を排出するため、地域の子供たちと一緒に、昔ながらの「うだ」を使った魚とりを毎年行っています。



□ 効果

従来から、農家を中心に定期的に活動は行っていたが、この対策も5年目となり、農家・非農家が一体となった環境を保全活動も定着し、環境に対する意識はかなり向上してきた。



□ 将来の展望

今後もこの対策を有効活用し、地域が一体となった活動を展開し集落機能を強化していきたい。

現在実施している活動の幅を広げ、排水路の泥上げや河川堤防の環境改善など、農家・非農家が協力した地域の環境保全活動に取り組んでいきたい。また、引き続き花木植栽による景観づくりの活動も継続していきたい。

全員参加で地域の環境を維持、向上させよう！！

ならぎきひがしかんきょうほぜんかい

組織名： 檜崎東環境保全会

位置： 下関市菊川町大字檜崎地区

対象面積：33ha

・地域の現状

本地域は四方を山に囲まれ自然豊かな環境に恵まれ優良な農地、水を利用しての水田農業地区である。従来より個々の農家により草刈り、水路の泥上げ等基本的な保全管理活動を実施していましたが、H19年度より農地・水・環境保全向上対策活動が実施され地区内で参加できる全員が共同で草刈り、缶拾い等を実施し地域環境の維持、向上に努力しています。当地区のおいしい農産物の基本となる水は当地域を流れる貴飯川(きばがわ)の恵を受けています。先人達がこの貴飯川をきれいにする為に川土手に吉野桜を約3kmに渡って植樹しています。今年もこの桜がきれいに開花しました。この桜並木を管理するのも環境保全会の仕事です。



・活動内容等

本地域には水田利用の堰が3箇所設置されています。各関係農業者による開水路の草刈り、泥上げを共同で実施しています。

年に2回(6月、8月)地区内参加希望者による共同の草刈り作業を毎年計画実施しています。この時に貴飯川土手の桜並木の草刈りも実施しています。地区内全員による缶拾い等清掃活動を年に3回実施していますがこの活動には檜崎老人クラブの皆さんも参加、協力してもらっています。又この地域は県営ほ場整備事業を完了して10年以上となりますので各所で排水溝の泥つまりが発生しており、毎年定期的に清掃しています。また現在農道で児童の通学道ともなっている道路に大型車が侵入しますので「進入禁止」の表示や「空き缶捨てるな」等の表示管理を実施しています。



・効果

従来、農地の畦畔は各自が実施していましたが農道横段差の大きい土手等は場所を決めて全員が共同で実施する様にした為、高齢者の負担が少しでも軽減されてきました。貴飯川の土手も以前は樹木、かずら、草で生い茂っていましたが、いまでは草刈りが行き届いて河川道を散歩する人も増えて流れるきれいな水を眺めリフレッシュしています。又地域の人たちも缶拾い等清掃活動に参加される方が増加し地域で環境を守っていこうと言う意識が向上して来たと感じています。

・将来の展望

今後も引き続きこの対策を展開して行く事が望ましいと思っておりますが、現状の活動は高齢者が多く今後は若い人の参加が必要です。今後は世代を超えて多様な構成員同士が共同で活動出来れば地域は活性化し元気が出て来ると思います。現在、実施している地域の草刈り、泥上げ、缶拾い等の共同作業を実施しながら檜崎地区の景観づくりに努力して行きたいと思っております。

地域環境活動は協働力を結集して！

組織名 貴飯・農・水環境保全会

位置： 下関市菊川町 対象面積： 33ha

◆ 地域の目指すべき方向

現在、水路施設の維持管理は、水系ごとに自治会の協力を得ながら行っている。

しかし、今後は農業従事者の高齢化や集落の過疎化が予想されるため、遊休農地発生防止や農村環境の保全活動を推し進めていくためには、地域全体のさらなる連帯感の強化が必要であると考えます。これらを解決するためにも地域での合意形成を行い、農業者をはじめ様々な主体の参加を図り、地域づくりや環境保全活動に取り組んでいきたいと思っています。



集落の力は国を造る

組織名 せん かぜ きくらくかい 千の風 菊楽会

位置: 菊川町檜崎菊楽

対象面積: 12.9ha

◆ 地域の現状等

当地域は平成5年2つの河川改修(貴飯川・田部川・久野川水系) 県営圃場整備(檜崎西・北)事業併せて、河川、圃場が並行事業の形で進められて、平成5年に完了しました。

現在我々の組織は、高齢化で過疎化に向かわんとしていますが、平成19年度より、この対策を有効に利用し、農家、非農家を含め、連携をとり、地域保全に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

貯水池河川の水利組合は、大きく2つで貴飯川水系と田部川・久野川水系を主体に、管理、連携をし、農地水環境向上に努める活動を実施しています。

子供会は小学校付近の緑化運動として組織と一緒に花壇等の手入れを行っています。

◆ 効果

最初は、事業内容が熟知できず、役員が先頭に立ち、事業の推進に当たりましたが、そのうち、次第に関心が深まり、現在では事業組織が向上しております。

◆ 将来の展望

今後は、この事業を、小さな組織でも皆さんの力を結集することが、明日への展望を開く事になります。

「集落の力」元氣な行政隊！！

ゆき まさ たい
組織名：行政隊

位置：下関市菊川町 対象面積：17.30ha

●地域の現状

当地区は平成11年度に県営ほ場整備事業を完了した地域ですが世間一般と同じで高齢化し構成員の平均年齢も58才となっています。又、下関市内に近い関係で、兼業農家が8割となっていますがこの対策を有効に活用し非農家、自治会、婦人会等と連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。



●活動内容

乳原堰水系を主体に管理、農地開水路は構成員が主体で、農道等は自治会と連携し定期的に草刈り等、農村環境向上活動を実施しています。

●効果

当所は、役員のみでの活動で、構成員の参加者も少ない状況でしたが、自治会、婦人会等の団体も参画して施設の点検、機能診断はもとより、農地・水向上活動に意識の関心が高まり、水路補修や農村環境の向上、施設等への花壇植栽や転作田を利用し、コスモス、ひまわりの植栽を行い、農村環境向上活動が出来るようになりました。

●将来への展望

今後、この対策を更に発展していくことにより、施設長寿化に向けた維持管理を強力に行い食の安心、安全、農家の所得の向上に向けた話し合いが出来る雰囲気づくり、また地域の環境保全としての、ひまわり、コスモスによる景観づくりは継続して行きたいと思っています。

みんなで守ろう久野の農地

元気で安心して暮らせる地域をつくろう！

組織名 くのうそんかんきょうほぜんかい 久野農村環境保全会
位置： 下関市菊川町 対象面積： 68.9ha

◆ 地域の現状等

当地区は、平成10年4月に営農組合が設立され、3年一巡の麦・大豆のブロックローテーションによる土地利用調整を行い、15年度に担い手育成型圃場整備が完了し、18年7月に農事組合法人久野ファームを設立して、利用権設定による麦、大豆、水稲の経営を開始しました。平成19年度から圃場整備後の用排水路や、農地・農道・溜池等農業用施設の効率的・効果的な維持管理と、環境保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

久野土地改良組合が集落全体に係る長谷溜池と久野川水系を主体に管理、農業者と久野ファームが農地を主体に管理するとともに、久野自治会や下関市菊川町土地改良区がそれぞれ連携して農地・水向上活動、農村環境向上活動を実施しています。特に、農道の再生アスファルトの砂利敷きは、高齢化と兼業化の中で業者への委託作業で行っています。



農業排水路等草刈共同作業

◆ 効果

高齢化と兼業化の著しい当地区は、当初、本事業への積極的な取組機運が減退していましたが、活動に農業者を始め、久野土地改良組合や久野自治会の多数の人が参加して、久野の農地をみんなで守ろう、また、元気で安心して暮らせる地域をつくろうとする意識や関心が高まり、基礎活動、農地・水向上活動、更には水質保全や景観形成・生活環境保全の農村環境向上活動を実践し、これからのより効果的な活動が期待される。



ポンプ室等施設点検・診断



構想策定等話し合い



地域住民との交流



農道の砂利敷（再生アスファルト）

◆ 将来の展望

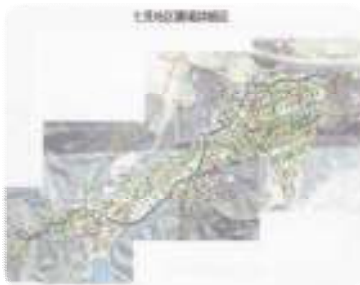
本対策を有効活用して、農業者を中心に土地改良組合や自治会がより連携を密にして、農地の有効活用と安心・安全なエコ等農作物生産及び農業環境整備、更には誰もが住みやすい農村環境整備や景観形成に向けて、「和」を大切にしつつ、ワンステップ上の活動に取り組んで参ります。また、これから拡充される施設の長寿命化にも、積極的に取り組んで参ります。

安らぎと安心を次の時代に

組織名 ななみ 七見環境保全組合

位置： 下関市菊川町七見 対象面積： 5,025a

★地域の現状



昭和 63 年に完工された団体営による圃場整備事業で農作業の効率化を得ているが、元来この地区を流れる七見川を中心に開けた比較的小面積の圃場による営農集落である。農事組合法人1組織と認定農業者1人による活発な営農活動の反面、農業者の高齢化に伴い、非農家数の増加や他産業の事業所との共存など地域の自然環境を保全するうえで課題が多い。

★活動内容

農業者と自治会、水利組合、農用地利用組合、農事組合法人など 9 団体が農地・水・環境保全向上活動に向けて一丸となってそれぞれの活動を実施しています。特に非農業者の環境美化への提言を丁寧に取り上げ、生活環境と農村環境の両方を劣化しないように努めています。一方、農業者では平成 21 年度よりエコ米の栽培に関しエコファーマーの認定を受けるなど先進的営農活動に積極的に取り組んでいるところです。



★効果

これまでの活動を通じて地域の住民の生活環境の保全向上意識が深まりました。また、耕作放棄地のほとんどが整備され農用地の荒廃を阻むのに一定の効果がありました。加えて有機栽培米やエコ米の生産に伴う景観作物の植栽に取り組み、地域の自然景観の美化に一役を担うとともに地域住民の心の安らぎと安心を培う土壌を生み出しています。

★将来の展望

当向上対策活動を通じて、農業者を中心として非農家の人たちや若年層の人たちを含め地域全体が自然循環機能の維持に参画し、住民が安心して生活し継続的に世代交代がなされる郷(さと)が実現できるものと期待します。

自治会一丸となって 美しい上田部を子供たちへ残そう

かみたべかんきょうほぜんかい
組織名 上田部環境保全会

位置：下関市菊川町上田部 対象面積：30.59ha

1 地域の現状等

当地域は、平成8年「ふるさとピア構想整備事業」により公民館・住宅用地・公園・集落排水整備等と共に、圃場整備が全国で2か所実施された内の1か所である。このため、自治会戸数も64戸から133戸と倍増し若者や小学生も急増した地域である。

しかし、農業従事者の高齢化が進み深刻な状態となっていた。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携を取りながら地域の環境保全に取り組んでいる。



2 活動内容等

上田部環境保全会では水利組合と協力し自治会員と共に8か所のため池や用・排水路の保全・管理、また、営農組合の協力の基に非農用地を「そば」作りに活用するなど、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。また、老人会や子供会などと共に地域の環境美化活動と合わせ技術の伝承のため、藁を使った案山子やしめ飾り作りに取り組み農村環境向上活動を実施している。

3 効果

上田部環境保全会の発足時は役員や農業従事者が主体で自治会員の多くを占めている非農家の協力は望めないものと懸念していた。しかし、自治会員のすばらしい環境に恵まれた上田部の自然を将来の子供たちに残そうとの強い気持ちと共に自治会の協力が功を奏してか、本事業の年間延べ参加人数は21年度450、22年度500人と増加をしている。とりわけ非農家の参加者が半数以上を締め、本事業への関心の深さを示している。また、自治会員同士の顔を知る機会にも一役買った結果となったことは大きな成果であった。しかし、多くの参加を得、かつ多くの学びとなった本事業も5カ年最後の年となり、今後どのような形で環境を保全し、継続していくか大きな課題を抱えることとなった。

4 将来の展望

本事業をきっかけに、高齢化と共に急激な減少傾向にある農業従事者の後継者や手助けとなる非農家の若者による協力が得られる対策が急務である。農業従事者のみで実施していたため池・用排水路・農道周辺の草刈りを始め、非農用地の有効活用が「そば作り」等、食の安全を通じて自治会員相互の協力により、楽しみながら環境保全活動が出来る体制づくりをしたい。



今が正念場 今を頑張ろう

ひがしなかやまかんきょうほぜんかい
組織名 東中山環境保全会

位置：下関市菊川町 対象面積：12ha



(中山溪雄瀧)

地域の現状

当地区は、湯の原ダム湖畔にある17世帯の小さな集落で、中山溪を訪れる人も多く風光明媚な地にあります。田地の63%が圃場整備田といえども、山とダム湖に挟まれ、恵まれた条件とは言えず、いのしし、シカ被害が重なり、就農意欲は減退傾向にあります。

活動内容

田地は地形上不成型な圃場が多く、水利は、ため池3・機械揚水1が入り組んでいる。水利・農道・ため池・パイプラインは利用者で共同管理し、農地については、最低年4回の草刈を義務付け、実施状況を検査することで履行確保しています。道路・ダム湖岸を主体に自治会総参加による清掃活動も行っている。

広報紙「フューチャー」を随時発行し、作業の予告や活動の状況を知らせている。

この事業に取り組む中で、地域の連帯意識が保たれていると感じています。



(道路清掃)



(大雨後の緊急点検)



(害獣防護柵設置)

将来の展望

恵まれた観光資源を生かした貸農園などの方策を検討するも、害獣被害を前に潰える状況で、このまま進めば、地域そのものの維持すら危惧されております。

限られた農地の集積・集約化、共同化、作業委託のルールづくりを進めることで、現状打開の途を模索しております。

今が正念場、今を頑張ろうを合言葉に、地道ながらも支えあいを生かした東中山らしいふるさと創生に努めていきたいと思っております。

地域の連帯感を高めて！

組織名 殿居地域保全隊

位置：下関市豊田町 対象面積：140ha

◆活動内容等

主な施設の維持管理は農業者のみならず、各自治会の協力を得て地域全体で行っており、言葉通りの「共同活動」を実践しているところです。

殿居地域には、昭和63年に施工した「大井堰揚水施設」と9.6km のパイプラインがあり、その維持管理を行っております。



◆効果

農業者・非農業者・自治会の地域を上げた取り組みは、今年で5年目になります。地域全体で農村環境の保全に取り組むことは、地域の連帯感を生み、今では参加者の環境に対する意識はかなり向上していると思います。

また、施設の点検や異常気象後の見回りは、農地及び農業用施設災害の発生防止及び早期発見に効果を上げております。

◆将来の展望

農業従事者の高齢化や集落の過疎化は地域の深刻な課題です。現在行っている遊休農地発生防止、農村環境保全活動を進めていくためには、地域全体のさらなる連帯感が必要であると考えています。今後も農業者を始めさまざまな主体の参加を図り、地域づくりや環境保全活動に取り組んでいきたいと思っています。

地域みんなでふるさと景観を守ろう！

組織名 豊田中地域保全隊

位置:下関市豊田町 対象面積:384ha

豊田中地域保全隊は、農村環境の保全・農業用施設の長寿命化を目的に平成19年8月に発足しました。活動は、自治会と農業者・非農業者が連携して水路や農道の補修だけでなく、地域の花壇への植栽なども行っております。



◆効果

活動は今年で5年目を迎えます。農業用施設の長寿命化に対する意識は以前より向上してきており、当事業による活動は定例の作業となってきました。特にため池や水路の維持管理については、農繁期に入る前の機能点検作業を実施することにより、効果をあげていると思います。

今年度で当初の計画期間がまもなく終了しますが、今まで培ってきた農村環境の保全に対する意識は今後も継承していきたいと思えます。

コミュニケーションを大切にした活動を！

組織名 豊田東地域保全隊

位置:下関市豊田町 対象面積:478ha

平成19年に発足した豊田東地域保全隊は、自治会の協力を得ながら地域の農用地の保全に取り組んでいます。



現在、保全隊の各集落では、施設の長寿命化を目的に、農業用施設の機能点検や異常気象後の見回りを地域と連携してすすめており、その活動は、農業者だけでなく地域の農地保全に対する意識を高めてきております。

平成22年の大雨ではため池や水路等の農業用施設も災害を受けましたが、地域で連携して、復旧作業を行いました。

当初の計画期間は今年度で終了いたしますが、この活動で培った農地保全の意識とノウハウを今後も地域で継承していきたいと思っております。

地域の和

組織名 なかおのちいきしげんほぜんかい
中小野地域資源保全会

位置： 下関市豊浦町 対象面積： 35ha

◆ 地域の現状等

中山間地域で全戸数 48 戸 80%が二種兼業農家

◆ 活動内容等

定年前後の方、16 名を中心に農道、井堰、水路、鳥獣害防止柵等の定期点検補修を行う。環境保全活動には、自治会、老人会、子供会で施設の清掃、花の定植、花壇作り、空カン拾い等の活動を行う。



◆ 効果

初年度については自主的な参加者が大変少なかったが、最近では日曜日とか他の休日であれば、子供づれで参加してくれるようになって大変にぎやかです。

◆ 将来の展望

先の事は分からないが、現在共に活動している 50 才代の人が地域内に 5~6名の同年代を集め、中山間地組織の活動を始めている。将来、期待が持てると思う。

“元気いっぱい私のふるさと”

げんき しもお の
組織名 元気な下小野

位置： 下関市 豊浦町
対象面積： 32.16ha



・地域の現状等

当地区は下関市豊浦町の川棚川の上流に位置しております。30年くらい前から河川堤防敷きにコスモスを植栽し、地区をあげて都市との交流イベントとして、コスモス祭りを実施してきました。また国の天然記念物の“川棚のクスの森”・川棚川のホタル等豊かな自然にあふれ、訪れる人々に感動と癒しを与える魅力あふれる地区であります。しかしながら現在は高齢化・過疎化が進み地域の深刻な課題であると考えています。そこで平成19年度から当事業を有効に活用し農家・非農家が連携をとりながら地域をあげて、環境・文化の保全に取り組んでいます。

・活動内容等

3つの活動班があり、それぞれ又は合同で農地・水路・農道・用水施設・ため池の管理を実施しています。また地域をあげて川棚川河川敷にコスモスを植え付け、農村環境向上活動を実施しています。

・効果

高齢化により農地・水路・農道の保全活動は人手不足であったが、非農家の作業参加で良く保全されている。また環境整備の河川敷のコスモスの植え付け・草刈り等は有志によるボランティアで実施しており、こちらも高齢化による人手不足であったが、当事業により地域内の全員が参加し、地域全体で環境を保全しようとする意識や農村環境への関心が高まったと思う。

・将来への展望

今後は、当事業に積極的に取り組み、農地・水路・農道・ため池等の保全はもとより、川棚川のホタル、菜の花・コスモスの植栽による景観作り、天然記念物の“川棚クスの森”の整備等農村環境の向上に努め、地域全体で楽しく元気に活動していきたいと思っております。

「みんなの力」で住み良い未来を！

組織名 あつもかんきょうほぜんかい
厚母環境保全会

位置： 下関市豊浦町 対象面積： 42ha

◆ 地域の現状等

当会は、平成2年度に県営圃場整備事業を完了した下関市北部の農村地域で近くに県の重要文化財厚母大仏や川棚温泉があります。しかし、昨今の少子高齢化が進み、農業人口は相当減少しましたが、そこに、平成19年度から環境保全向上対策が実施され農家を中心に自治会等の協力を受け、鋭意、共同活動中です。

◆ 活動内容等

地域の共同活動で集落間の農道、水路等の清掃管理の強化と農業関係以外の地区民と融和、協調認識が高く明るくなる。子供会等の「花いっぱい運動」参加で景観美化や放水路の生物保護等の意識が広がる又、環境保全活動で自然共生社会や食の安心安全に対する認識が高くなった。

◆ 効果

他集落民や、小中学生との挨拶が多くなった。
地区境界の清掃管理等が良くなった。
排水路等の流失物(上流からの)が少なくなった。
農薬散布や代かき濁水放流が減少した。
農道等の花木の手入れ、剪定に関心が増加。



◆ 将来の展望

農地・水環境保全が最終5年目を迎え、当初の役員の不安心も少なくなったが、後継者難が心配で先輩の作成した《初年度の実践活動記録》をマニュアルとして花咲く明るい農村になればと思います。



みんなで守ろう 本郷の農地・里山

組織名 うかほんごうのうちかんきょうほぜんたい
宇賀本郷農地環境保全隊

位置： 下関市豊浦町宇賀 響灘に面す 対象面積： 35.3ha

◆ 地域の現状等

私達本郷集落は響灘に面し、秋の快晴の日には、西に遠く福岡県の沖ノ島(約 50Km)の見える、風光明媚な所です。しかし、台風がくれば、西風が吹き荒れ潮風の直撃を受け農作物が被害をこうむる事も度々あります。また、東側には、300m級の急な山があり農業用水の確保のために、大きく役立っています。そのためにも、山の整備が重要な課題となっています。それに、本郷の農地を守る命の水として、本郷上流の集落大河内から約 3Kmの用水路を流れてくる水があります。

◆ 活動内容等

毎年5月、この大河内からの水路の草刈りと補修、整備など、集落全体(非農家も含む)で行っています。しかし、地域全体が高齢化しているため、草刈り作業など、皆負担となってしまいました。そこで、作業軽減のために、水路の側面をコンクリートで張り、草刈作業の効率軽減を図りました。又、保有林は保水力の増加や、水害予防策として、保有林の間伐作業を集落全体(非農家含)で実施し、大きな成果をあげることが出来ました。



◆ 効果

草刈り作業等、従来は半日掛っていたので、作業の大きな負担となっていた。草刈りが少なくなり、わずか1時間程度で終わることが出来るようになり、労働時間も大きく軽減されると確信しています。保有林については、梅雨時の大雨や台風時の雨にも水害をこうむることが軽減されると思います。

◆ 将来の展望

環境を整備することにより、集落全体の荒廃を防ぎ、良い環境に整えて、次世代に引継いでもらえるようにしていきたい。

「地域の絆」を未来へ紡いで行こう!

組織名 こぐしのうちかんきょうほぜんかい
小串農地環境保全会

位置:下関市豊浦町 対象面積:19ha



■ 地域の現状等

当地区は、昭和61年度に新農業構造改善事業を完了した地域で、当初は、花卉・野菜と稲作の複合経営を行う農家が大半を占めていましたが、現在、当時の中核農家の高齢化の進行に伴い、遊休農地が点在し始め、地域の深刻な問題となっています。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に活用して、農家・非農家と連携を図りながら、一丸となって地域の環境保全に取り組んでいます。

■ 活動内容等

大歳・入尾農事組合、大歳自治会及び小串小学校の卒業生で組織する校友会が、それぞれ連携して活動を実施しています。

活動内容については、他地区と大差はありませんが、その中で特に力をいれている活動は、環境啓発板及び鹿防護柵の設置があげられます。また、毎年、小串小学校の5年生を対象に、物を育てる喜びや物を大切にすることを養うため、田植えと稲刈りの農業体験を実施しています。

■ 効果

平成19年度当初は、「役員を中心とした活動になるのでは？」と懸念していましたが、地域内の農家はもとより、自治会や校友会など多数の方々の積極的な参加により、地域全体で環境を守り、子や孫の世代に良好な状態でそれを引き継いでいこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと考えています。

また、共同作業の実施により、団体間の交流が図られ、地域の絆が一層強まってきたように思います。

目に見える効果としては、環境啓発板の設置(3箇所)により、カン・ペットボトル等ゴミのポイ捨てが激減しました。

■ 将来の展望

高齢化が進行する中で、地域内の農地や農業用水・農道などの資源をいかにして守るかが、今後の一番の課題となってきますので、地域の将来像を見据えた更なる議論を重ねていく必要があります。

また、農道をウォーキングする地域内の方が多いため、ヒマワリ・コスモス等四季折々の景観作物を植え付け、地域住民の環境に対する意識の向上を図るとともに、現在、計画延長の約50%の1,200mが完了している鹿防護柵の設置についても、補助事業を活用しながら、地域の有害鳥獣対策に取り組んでいきたいと思っております。

「魅力ある集落」を目指す

組織名 かわたなちくかんきょうほぜんかい
川棚地区環境保全会

位置:下関市豊浦町川棚 対象面積: 89.0ha

◆地域の現状

当地域は全体に示す50%が県圃場整備事業として完了しておりますが残り農地は個人営農として作けをおこなっていますが昨今の高齢化には深刻な課題があります。そこで採択年度からこの事業を効率的に有効に活用し農家と地域住民と一体化による連携をとりながら取り組んでいます。

◆活動内容等

川棚川流域に存する農地に2箇所のため池が存在し小河川を水源とした比較的に水に恵まれた農地であり二つの堰組合が存在しこれに担い手である法人せりゅうが管理するなどそれぞれ連携して農地水向上活動を実施しています、又自治会連合有志、学校児童の協力を得ながら地域の環境美化を促進し農村環境の向上に努めております。

◆効果

最初は限られた人員にて参加になると懸念していましたが、自治会連合有志多数又、学校等の協力を得て環境美化（花いっぱい運動）を守る意識が芽生えおります

◆将来の展望

この対策を継続していくことにより地域住民と一体なり農業を守り食に対して語りあうことが出来れいと考えております又本対策を有効的に活用して町内に存する農地の保全の一環としてサルビア・コスモスによる景観作りを地域住民と学校児童と楽しみながら活動したいと思います。

